

山田地区



大歳神社(牧野)



牧野村の南端に位置。宝暦14年(1764)銘の石鳥居をはじめ、明和・文化・文政期の銘がある石灯笼・狛犬などがある。



生蓮寺



曹洞宗派。本尊は、十一面観音立像、仏像、木造阿彌陀如来坐像。正徳五巳年(1715)十一月施主林安右衛門銘の半鐘があることから、これに近い時期に寺号(長尾山 生蓮寺)を得たものと伝わる。



諏訪神社 諏訪の岩穴



祭神は水利の神といわれる建御名方神。境内に多田古墳とよばれる全長40mの前方後円墳(県指定史跡)がある。現在、横穴石室内に石祠が置かれ、羨道入口前面に拝殿が作られていて「諏訪の岩穴」とよばれている。



専光寺



平安期末に天台宗寺院として創建され、永禄5年(1562)、本願寺第11代顕如上人より阿彌陀如来画像一幅を授けられ、浄土真宗寺院として再出発。本尊は木造阿彌陀如来立像。開基は道明。本堂、鐘楼、山門、庫裏がある。



竹宮神社



山の斜面を三段に削平して、上段本殿、中段拝殿、下段境内広場となっている。祭神は天照大神、豊受大神、大平神、宇カノ御魂。灯笼は宝暦9年(1759)、手水鉢は天保4年(1833)のもの。拝殿から本殿への石段は宝暦4年のもの。



多田廃寺



諏訪神社の西北300m付近、林崎池西方の若宮屋敷といわれた地域が、白鳳期薬師寺様式の多田廃寺遺称地と伝わる。塔心礎2個は諏訪神社の境内に保存されている。出土遺物として青銅製宝珠、石造相輪、古瓦などがある。



梅林寺



天台宗派。本尊は白衣観音。地藏半跏像の仏像がある。昭和12年発行の「山田郷土読本」によると、この地にかつて梅林寺という寺があつて、その跡地に元禄2年(1689)邦公上人によって水田庵が開山されたとある。



牧野の観音さん(百体の観音石仏)



昔、牧野村には、大変な暴風雨が来襲し、湯谷の奥から山津波が押し寄せ、村の田畑は流された。その後、隣村の長者が田畑を寄進し寺を再建し、村人も喜んで光景寺裏山に百羅漢をお祀りしたと伝わる。



みちしるべ一石一字法華経塚



天満神社南道路脇に位置。明和2年(1765)に造立された道標。表「右たじま道」裏「明和二年酉 谷口助五□」の銘がある。背後にある一石一字法華経塚には「天明八拾歳/明善坊/次戌申龍集日/豪湛」などの銘がある。



南山田城跡



標高約50m、周囲300m程の城山で、南半分は掘削され児童公園となっており、北半分は土塁状に三段の平坦地がみられる。五輪塔や宝篋印塔の残欠が散見され、戦国末期の丘城の遺構を留めている。後藤又兵衛の居城と伝わる。



1 地域夢プランの歩み
～はじまりから～

2 地域夢プランのかたち
～取組の類型化～

3 地域夢プランのとりえ方
～検証と未来へのアプローチ～
(1) 「姫路市地域夢プラン」の概要

3 地域夢プランのとりえ方
～検証と未来へのアプローチ～
(2) 地域資源を活用したまちづくりと展望

4 地域資源の全リスト
～地区からの情報発信～
(1) 地区ごとの主な地域資源

4 地域資源の全リスト
～地区からの情報発信～
(2) 地域資源一覧



宇佐八幡神社と地福寺



明治の神仏分離令により、日本中で1つの境内に祀られていた社寺が分離された。しかし、ここでは社寺が同一境内にあり、前の姿を残している。



人参役所跡



現、岡庭家(神崎酒造有限会社)。19世紀初頭、姫路藩家老河合寸翁は西光寺野の開発に着手。朝鮮人参の栽培を始め、人参役所を設けた。明治4年の姫路県一揆で役所は焼失。明治8年に人参栽培を廃止した。



帰一学館跡



帰一学館は、地元の青田節が明治23年に開いた私塾で、大正10年に閉館された。赤穂、穴粟、神戸等広範囲の若者629人が学んだ。記念碑は、昭和6年に卒業生が建立。碑文選者は御立出身の歴史学者、三上参次。



三上参次生誕地碑



幸田家の敷地内に「三上参次先生誕生之处」の碑がある。参次は慶応元年に幸田家に生まれ、5才で野里の三上家の養子となり、後に国史を独立した学問分野に位置づけた。また、姫路城の国宝指定に尽くした。



黒ぼこ(クロブク)と小芋



八幡地区に分布する黒色の火山灰土壌。この「黒ぼこ」は、根菜類とくに里芋の栽培に適し、「八幡の小芋」と呼ばれて好評を得ている。近年、秋にこの小芋を主食材として「芋煮祭」が開かれ、地区内外から数百名が集う。



薬常寺



天台宗山門派、本尊は、薬師如来坐像(鎌倉時代)。他に阿弥陀如来立像、観音菩薩立像、十六善神像図、隠れキリシタン地藏等優れた宝物がある。毎年6月には菩提樹祭が開かれ、市内外から老若男女が集い楽しむ。



神南高等小学校跡



明治28年に船津・山田・豊富・香呂・中寺の五ヶ村をもって、修業年限4年の神南高等小学校をこの地に開校した。明治37年に神南高等小学校は廃校となったが、その後各村の尋常小学校に高等小学校が併設され、尋常高等小学校が開校。



龍王舞(通称ジョマイジョ)



毎年10月初旬の正八幡神社の秋祭に奉納される舞で、平成2年に市指定無形民俗文化財に指定された。鼻高(天狗)面を付け、鳥兜をかぶり、真っ赤な衣装に黒塗りの鉾を手に舞う。



鍋ヶ森神社



西光寺野の南部に位置する。昭和末期まで氏神を祠で祀っていたが、当時の副自治会長笹田氏の肝いりで住民のより所として、邑日野(オオワチノ)ゆかりの農業神「アジスキタカヒコネ神」を祭神とする現鍋ヶ森神社が創建された。



渡し場跡(川船泊まり場)



三又の市川河岸がかつての船泊まり場で、対岸(香寺町岩部)との渡し場跡である。市川の上下と東西を結ぶ要地で「船津」の地名の由来であると伝わる。昭和初年に中津橋や大礼橋が完成し、「市川の渡し」は廃止された。



1 地域夢プランの歩み
～はじまりからこれまで～

2 地域夢プランのかたち
～取組の類型化～

3 地域夢プランのとりえ方
～検証と未来へのアプローチ～
(1) 「姫路市地域夢プラン」の概要

3 地域夢プランのとりえ方
～検証と未来へのアプローチ～
(2) 地域資源を活用したまちづくりと展望

4 地域資源の全リスト
～地区からの情報発信～
(1) 地区ごとの主な地域資源

4 地域資源の全リスト
～地区からの情報発信～
(2) 地域資源一覧



家島神社



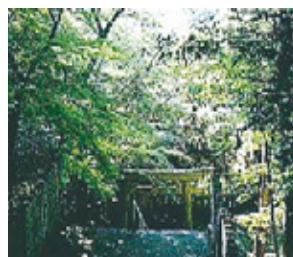
「続日本後紀」には、承和7年(840)建立とあるが、2600年以上さかのぼるとの伝承もある。「延喜式神名帳」の損保郡七座の一つ。祭神は大己貴命、少名彦命、天満天神で、家島諸島・播磨灘鎮守府として島民の崇敬を集めている。



天満霊樹



家島本島の天神鼻にある、家島神社付近の原生林。菅原道真が平安京から太宰府に流される途中に、立ち寄ったと伝えられている。



監館眺望(清水公園)



寛永16年(1639)、江戸幕府が海上警備のために設けた番所(見張所)があったところで、素晴らしい眺望が楽しめる。



どんがめっさん



亀の形をした岩で、水天宮として地元の信仰を集めている。沖に出た主人の無事を祈る女性たちによって寄進された。主人の帰りを待ち続けた亀が石になったものという伝説がある。



櫻谷雪景・破風の井戸



櫻谷に降る雪景色と「破風の井戸」の名で親しまれている湧き水。法道仙人がこの井戸を発見し、どんな干ばつでも枯れないとの言い伝えがある。かつては、貴重な生活用水として利用された。



真浦神社



建立時期、きっかけともに不明。建築様式から江戸時代のものと思われる。真浦では「氏神さん」と呼ばれている。元の名は「荒(こう)神社」。奥津彦神・奥津姫神が祀られる。11月2日・3日に秋祭りが行われ、2台の屋台が練り競う。



城山公園



中世の頃、この山頂に城郭(間浦古郭)が築かれていたので「城山」と呼ばれている(当時は「飯盛山」と呼ばれた)。築城者は、苦瓜助五郎本道と伝えられる。現在も砦跡や老松が数本あり、家島湾の眺望もよい。



宮浦神社(白髭霊祠)



宮地区の氏神で家島神社と関係が深い。社伝によれば比叡山実相院の覚円僧都が、霊夢によって琵琶湖に準え、白髭大明神を勧請したという。7月24日・25日の天神祭では、当社の火を戴いた提灯行列が家島神社に火を移す。



長円寺



了源が1602年に建立とも伝えるが、詳しい年次は不明(現在の建物は2002年に建てられた)。真宗大谷派。京都の東本願寺との関わりが深い。



宮浦夜泊



宮の入江に船を寄せ、停泊した時の風情と青く澄んだ海の穏やかさを表現している。



1 地域夢プランの歩み
〜はじまりからこれまで〜

2 地域夢プランのかたち
〜取組の類型化〜

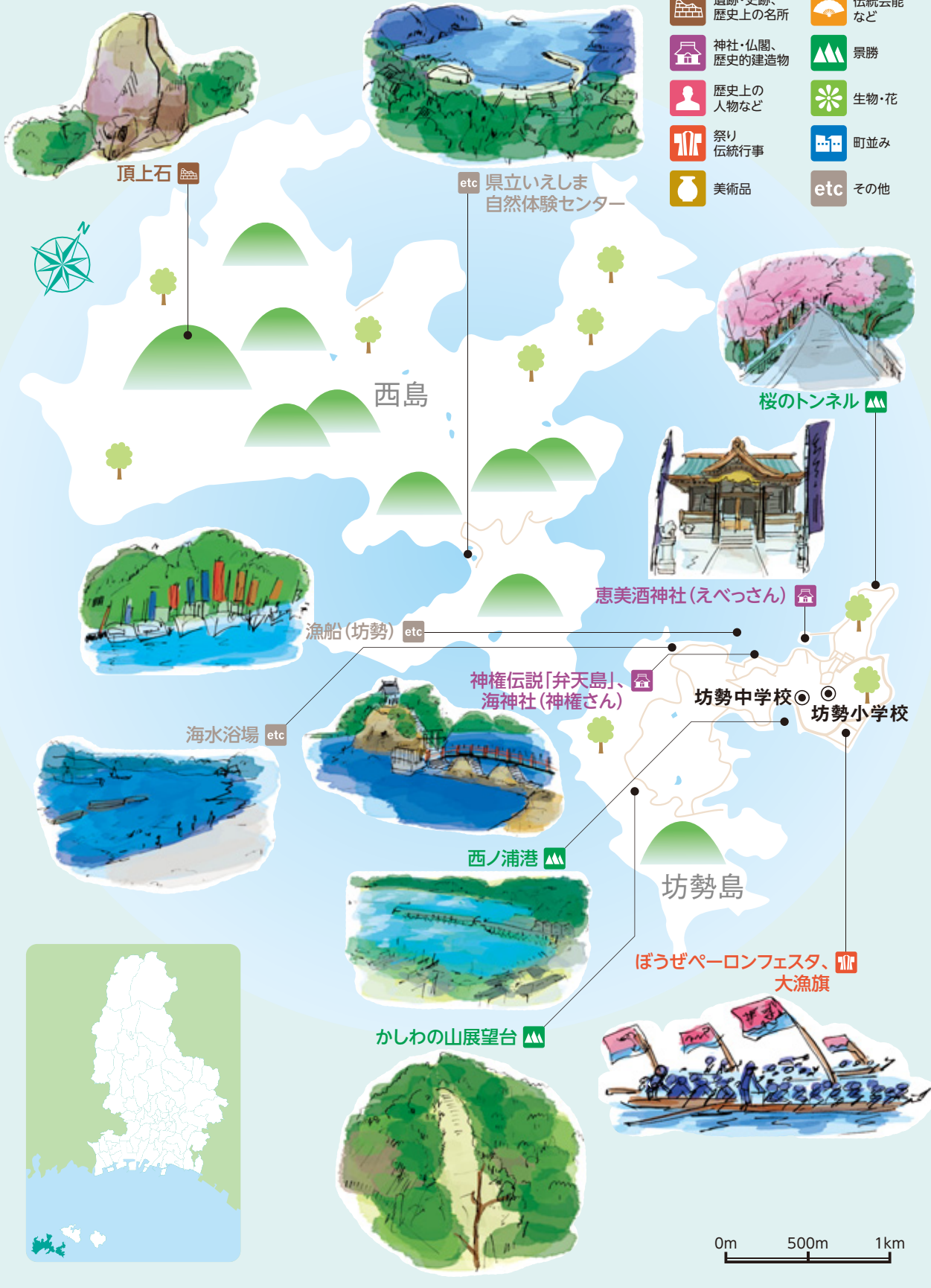
3 地域夢プランのとらえ方
〜検証と未来へのアプローチ〜
(1) 「姫路市地域夢プランの概要」

3 地域夢プランのとらえ方
〜検証と未来へのアプローチ〜
(2) 地域資源を活用したまちづくりと展望

4 地域資源の全リスト
〜地区からの情報発信〜
(1) 地区ごとの主な地域資源

4 地域資源の全リスト
〜地区からの情報発信〜
(2) 地域資源一覧

-  遺跡・史跡、歴史上の名所
-  神社・仏閣、歴史的建造物
-  歴史上の人物など
-  祭り 伝統行事
-  美術品
-  伝統芸能など
-  景勝
-  生物・花
-  町並み
-  etc その他



The map shows the Bousei region with several key locations and features:

- Top landmarks:** 頂上石 (Top Stone), 西島 (Saijima), 県立いえしま自然体験センター (Prefectural Ieshima Nature Experience Center).
- Coastal and Water Features:** 漁船 (坊勢) (Fishing boats), 海水浴場 (海水浴場) (Swimming beach), 西ノ浦港 (Sai no Ura Port), 坊勢島 (Bousei Island).
- Religious and Cultural Sites:** 恵美酒神社 (えべっさん) (Ebisaki Shrine), 神権伝説「弁天島」、海神社 (神権さん) (Shinkon Denwa 'Bentenjima', Kaminari Shrine (Shinkon-san)), 坊勢中学校 (Bousei Junior High School), 坊勢小学校 (Bousei Elementary School).
- Natural and Recreational Sites:** 桜のトンネル (Sakura Tunnel), ぼうぜパーロンフェスタ、大漁旗 (Bousei Paron Festa, Daishichi no Hata), かしわの山展望台 (Kashiwa no Yama Observation Deck).

A compass rose is located on the left side of the map. A scale bar at the bottom right indicates 0m, 500m, and 1km. An inset map in the bottom left shows the location of the Bousei region within the larger context of the island of Hokkaido.

恵美酒神社(えべっさん)



坊勢島の玄関口である奈座港西端の山頂にあり、瀬戸内の眺望が楽しめる。建立は元慶7年(883)以前と伝わるが、詳しい年次は不明。蛭子大神を祭神とし、秋季例祭が毎年11月3日・4日に行われる。



桜のトンネル



定期船発着場から歩いて約15分のところに、桜のトンネルがあり、ここを抜けると、高台から島の3大漁港の1つ、長井港を眺めることができる。



海水浴場

etc

坊勢島の海水浴場は阪神間の海水浴場と比べ透明度が高い。また、あまり知られていないため訪れる人は少なく、海水浴場全体を見渡すことができ、小さな子ども連れでも安心。



神権伝説「弁天島」、海神社(神権さん)



定期船発着場そばの鮮やかな朱塗りの橋を渡ると「海神社」がある。島では「神権さん」の名前で親しまれ、海神・竜神・弁財天が祀られている。漁師の父に代わって身を投じた美しい娘の伝説が伝えられ、漁師の守護神となっている。



かしわの山展望台



坊勢島の一番高い山の上にあるこの展望台は、360度の瀬戸内海の景色が広がる。西は小豆島、時には瀬戸大橋が、東は明石海峡大橋、大鳴門橋が眺望できる。坊勢島周辺には数十の島があり、瀬戸内海の優しい景色をつくっている。



頂上石



西島の山の頂上には頂上石と呼ばれる不思議な巨石(高さ8m、周囲約25m)がある。まるで巨人が山の頂上に置いたような巨大な丸い岩は、一説に「古事記」の国生み神話に出てくる「天の御柱」とされ、注目を集めている。



漁船(坊勢)

etc

坊勢島の漁船登録数は約1,000隻、全国でも上位にある。漁種もカニ・シャコ・カレイを獲る底引き網漁、アジ・サバを獲る巻網漁、シラス・イカナゴを獲る船曳漁、磯端漁、カキ養殖、海苔養殖と多彩な漁業が営まれている。



西ノ浦港



定期船発着場から島の反対側に位置する漁港。西ノ浦港湾内には、日本一長い浮桟橋が設置され、全長は130mある。



県立いえしま自然体験センター

etc

西島には野外活動施設の「兵庫県立いえしま自然体験センター」がある。カヌー・カヤックなどのマリンスポーツ、キャンプ・海水浴・ハイキングなど自然の中で親子や友人との心の交流を深めることができる。



ぼうぜパーロンフェスタ、大漁旗



毎年8月第1土曜日に開催される。京阪神や関東から、約1,500人が参加する。競漕の最後には、坊勢島の3港対抗戦があり、地元漁師の熱い戦いが繰り広げられる。青い空に舞う大漁旗は豪華で美しい。



1 地域夢プランの歩み
～はじまりから～

2 地域夢プランのかたち
～取組の類型化～

3 地域夢プランのとらえ方
～検証と未来へのアプローチ～
(1) 「姫路市地域夢プラン」の概要

3 地域夢プランのとらえ方
～検証と未来へのアプローチ～
(2) 地域資源を活用したまちづくりと展望

4 地域資源の全リスト
～地区からの情報発信～
(1) 地区ごとの主な地域資源

4 地域資源の全リスト
～地区からの情報発信～
(2) 地域資源一覧



- | | |
|------------------|------------|
| 遺跡・史跡、
歴史上の名所 | 伝統芸能
など |
| 神社・仏閣、
歴史的建造物 | 景勝 |
| 歴史上の
人物など | 生物・花 |
| 祭り
伝統行事 | 町並み |
| 美術品 | etc その他 |

0m 500m 1km

置塩城跡【国指定史跡】



夢前川の東岸、標高370m。本丸・二の丸・三の丸をはじめ幾多の曲輪、石垣、土塁などの城郭遺構が残り、東西約600m、南北約400mにわたって広がる播磨最大級の山城跡。後期赤松氏を再興した赤松政則が築城したと伝える。



置塩山法界寺



書写山圓教寺の末寺。性空上人の開基と伝わる。享保7年(1722)に薬師堂に改築され、昭和46年に現在地に再建された。本尊は薬師如来、脇侍に日光・月光菩薩を安置し、別に十二神将を祀っている。



北野神社



1000年ごろ巨智延昌により創建されたと伝わる。1700年に再建され、菅原道真公が祀られている。境内には、武蔵坊弁慶の母の墓と伝えられる石仏があり、「この墓石を削って飲むと霊験あらたかなり」との伝承がある。



旧城下町・町村



置塩城があった頃、町村は小塩町とよばれ、城下町として栄えていた。その名残りとして横大道筋、武家小路という地名や多くの商店の屋号が残っている。5代城主、赤松則房が戦わずして羽柴秀吉に服し、置塩城は解体された。



三宝山浄安寺



置塩城3代城主赤松晴政が赤松家の菩提寺として建立したと伝える。現本堂は慶応2年(1866)の再建。境内に「永正15年(1518)」銘の宝篋印塔があり、2代目城主赤松義村の供養塔といわれている。



書写吹石仏



自然の石を彫りくぼめ、中肉彫りをした地藏菩薩半伽像である。この石仏は、かつて夢前川に流出していたところを村人が発見し、ここに祀ったとされ、「掘り上げ地藏」とも呼ばれている。



長福山松安寺跡墓石群



松安寺は赤松義祐が菩提寺として創建。建物は昭和50年に倒壊した。五輪塔は右より義祐・晴政・晴政の妹となっている。地藏像は義祐によってつくられたといわれ、優れた像として評価が高い。



富田山性海寺



性海寺は霊龜年間に徳道上人が開基したとされる天台宗寺院。歴代置塩城主の信仰が厚く、本尊十一面観音は、高さ1.8mもあり、胎内には赤松政則の持仏が納められているという。本堂前には幹まわり、2.07mのみごとな五葉松がある。



櫃蔵神社(夢前町宮置)



祭神は豊受姫命、大年大神、若年大神。1340年の創建と伝える。置塩城5代城主赤松則房が天正5年(1577)に羽柴秀吉に服して開城の時、本丸跡にあった守護神は当社と糸田の柏森神社、香寺町恒屋の櫃倉神社の三所に分祀。



氷室池



天保13年(1842)、姫路城主酒井忠学の時、夢前町玉田、安室六か村の灌がい水源として完成した大池。周囲は約4km余りあり、当時としては姫路藩でも屈指の大池であったが、現在は灌がい用としては利用されていない。



1 地域夢プランの歩み
～はじまりから～

2 地域夢プランのかたち
～取組の類型化～

3 地域夢プランのとりえ方
～検証と未来へのアプローチ～
(1) 「姫路市地域夢プラン」の概要

3 地域夢プランのとりえ方
～検証と未来へのアプローチ～
(2) 地域資源を活用したまちづくりと展望

4 地域資源の全リスト
～地区からの情報発信～
(1) 地区ごとの主な地域資源

4 地域資源の全リスト
～地区からの情報発信～
(2) 地域資源一覧



-  遺跡・史跡、歴史上の名所
-  神社・仏閣、歴史的建造物
-  歴史上の人物など
-  祭り 伝統行事
-  美術品
-  伝統芸能など
-  景勝
-  生物・花
-  町並み
-  etc その他

0m 500m 1km

天御酒神社



祭神木花咲耶姫。古知之庄、杉之内、塩田、荒神山地区の氏神。寛文2年(1662)の創建と伝えられる。神殿は明治30年の改築で、安産の神として参拝者が多い。秋の大祭は屋台練りが盛大に行われる。



義民滑の甚兵衛塚



滑の甚兵衛は、姫路城主の悪政に苦しむ農民たちの先頭に立って、百姓一揆の中心人物として行動した。罪を問われて磔刑に処せられたが、塩田の利兵衛、又坂の与次右衛門と共にその義挙が今なお多くの人々に賞賛されている。



一乗山蓮華寺



天台宗、愛宕山麓の東面に建つ本堂は舞台造。本尊の地藏菩薩は石仏で高さ11cm、岩座に腰掛けた半伽像で秘仏とされている。梵鐘は宝暦4年(1754)に鑄造され、太平洋戦争の際に供出されたが、終戦のため返還された。



古知之庄石仏



高さ1.6mの自然石に、蓮台の上に錫杖を持った48cmの地藏菩薩像が刻まれている。室町幕府4代将軍足利義持の頃、相次ぐ飢饉や悪疫の流行により人々が苦しんだ時代につくられたものと思われる。



置塩神社



寛延2年(1749)、姫路藩領では厳しい年貢の取り立てに対し、置塩郷の農民たちは滑の甚兵衛を先頭に塩田の利兵衛、又坂の与次右衛門らと共に立ち上がった。この時、処刑された指導者たちを祀るため、昭和29年に創建された。



塩田温泉郷



塩田温泉の歴史はとても古く、発見されたのは奈良時代と推定される。湯治場としての歴史も、少なくとも300年近くは遡ることができる。江戸時代の元文期(1736～41年)には湯治に利用されたという記録が残る。



春日山光瑞寺



浄土真宗本願寺派。本尊阿彌陀如来。武田信玄の武将高坂弾正昌信の三男四郎兵衛昌房が龜山本徳寺よりこの地に来て草庵を開いたことに始まるとされる。その子浄念が元和8年(1622)光瑞寺と称した。現本堂は寛政10年(1798)に再建されたもの。



どんどが淵壺穴



滝状になった水路にできた大穴。深さは土砂に埋もれ不明。岩にいた小穴に、不断の流水や小石が流入し長年のかきまぜによって段々大きくなったもの。



柏森神社



祭神は大山津見命。置塩城5代城主赤松則房が中国攻めの羽柴秀吉軍に服して、天正8年(1580)開城。その際、城の守護神の一つ遷し祀ったと伝えられている。現社殿は春日造の小社で大正12年に改築されたものである。



法恩寺跡墓石群



古知之庄法恩寺は置塩神社南山麓にあったが、昭和40年の水害で流出。残った墓石群の右端に県指定文化財である石造無縫塔がある。背面に「開山塔」、側面に「永和四年(1378)」とある。室町時代の石造美術として貴重な文化財である。



1 地域夢プランの歩み
～はじまりから～

2 地域夢プランのかたち
～取組の類型化～

3 地域夢プランのとりえ方
～検証と未来へのアプローチ～
(1) 「姫路市地域夢プランの構築」

3 地域夢プランのとりえ方
～検証と未来へのアプローチ～
(2) 地域資源を活用したまちづくりと展望

4 地域資源の全リスト
～地区からの情報発信～
(1) 地区ごとの主な地域資源

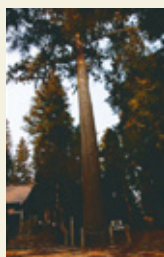
4 地域資源の全リスト
～地区からの情報発信～
(2) 地域資源一覧



神元(かみのもと)神社の大杉



目通り周囲 5.6m、樹高 42.3m の大樹で、樹齢は約 350 年と推定され、御神木として崇められている。神元神社は、須佐雄神(すさおのかみ)、高皇産靈神(たかむすびのかみ)、神皇産靈神(かみむすびのかみ)を祀る。



百丈山臨濟寺



南北朝時代の 1379 年、播磨の守護赤松義則に招かれた別峯(べつぼう)国師が開山した禅宗臨濟寺派の寺院で、現本堂は姫路城主松平直矩(なおのり)が延宝 3 年(1675)に再建したものの。



三枝草板碑群



南北朝時代の 1386 年に造られた。高さ 1.89m、幅は底辺で 50cm、厚さ 25cm の石の上部を彫りくぼめ、蓮華座の上に右手に錫杖、左手に宝珠を持った高さ 48cm の地藏菩薩立像を中肉彫りにしている。



松之本道標



「右たじま道、たんご道、なれあい二十四里」と刻んだ道標。ここは書写山から成相山(なりあいさん)へ向かう旧道の三枝草への三叉路の要地にあたる。移動している道標が多い中、旧来そのままに存在する貴重なもの。



佐野邸



正徳元年(1711)、姫路城主榊原氏の新田開発の求めに応じて、この地に移り住んだ佐野玄意正春の住宅。長屋門、母屋、土蔵、庭園などから当時の庄屋クラスの豪農の生活ぶりを今に伝える。市指定文化財。



明神山(みょうじんさん)



標高 668m の明神山は、古くから「播磨富士」と呼ばれる。頂上からの展望は 360 度遮るものがなく、晴天の日は瀬戸内海が一望でき明石海峡大橋も見える。山麓には、逆さ富士で有名な岩屋池があり神秘的な明神山の姿を写す。



天神社



菅原道真、須佐雄神、大年神が祀られ、近世まで加谷(鹿谷)天満宮または前之庄天満宮と呼ばれた。もとは、当社の西にある小天神と言う小山にあった天神山城の守護神として祀られていた。



夢前川



鹿谷中学校区北端の雪彦山にその源を発し全長 39.8 km。紀貫之が「現(うつつ)にはさらにもいはず播磨がた夢前川に流れてもあはん」と詠んだ。上流では、春は河畔での花見、夏は清流での川遊びや鮎狩りを楽しむ人で賑わう。



万丈寺山廃寺跡



昭和 47 年、寺の礎石十数個と布目瓦(ぬのめがわら)が発見され、礎石には自然石に直径 60cm の円形造出式のものも数個あった。出土の布目瓦は布目も荒い。専門家は、白鳳時代(645～709)の廃寺跡と推定。



夢さき夢のさと農業公園



貸し農園や果樹園、レストランなどの総合施設として平成 4 年にオープンし、平成 6 年にはコテージ村、平成 10 年にはハイキングコースが整備され、レストランでは、地鶏料理や地元産そば粉を使った「夢そば」が好評。



1 地域夢プランの歩み
～はじまりからこれまで～

2 地域夢プランのかたち
～取組の類型化～

3 地域夢プランのとらえ方
～検証と未来へのアプローチ～
(1) 「姫路市地域夢プランの概要」

3 地域夢プランのとらえ方
～検証と未来へのアプローチ～
(2) 地域資源を活用したまちづくりと展望

4 地域資源の全リスト
～地区からの情報発信～
(1) 地区ごとの主な地域資源

4 地域資源の全リスト
～地区からの情報発信～
(2) 地域資源一覧

山之内地区

別紙MAP
D-1・2、E-1・2



賀野神社



雪彦山の洞が岳の岩峰群を望む山の中腹に鎮座。伝承では応神天皇が社殿を建立して、伊弉諾、伊弉冊の二神を祀ったという。境内入口に鑄造製の牛と馬が奉納されており、農業や家畜の守護神として知られた神社である。



雪彦山



日本百景並びに日本三彦山の一つである雪彦山は、鉾立山(ほこたてやま)(662m)、洞が岳(ほらがだけ)(884m)、三辻山(みつじやま)(915m)の三山を総称したもので、一般的に洞が岳を雪彦山と呼ぶ。



鹿谷山薬上寺(薬師堂)



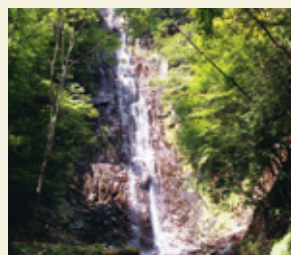
和銅年間(708～714)行基菩薩の開基と伝えられ、眼の薬師を祀る民間信仰の霊場として歴史を刻んできた。山門は廃寺となった雪彦山金剛鎮護寺より移築されたもの。写真は薬師堂。



僧屋敷の滝



昔、この滝の近くに修行小屋があり、いつでも僧や行者の姿が見られたので僧屋敷と呼ばれ、それが滝の名になった。落差45メートルの滝は雄大で、特に秋の紅葉は絶景である。



生福寺



高野山真言宗の末寺で、本尊は地藏菩薩。正保元年(1644)に僧台坊上人が創建。平成2年に各諸菩薩を祀っている寺が集まり発足した播州夢前七福神霊場の第四番の札所。



妙見堂石段



大正12年4月に竣工したもので、5段に区切られ、全長は84mで247段あり、一番下の石段は長さ36mで111段と最も長い。妙見堂石段の側には雄大な大イチョウがある。



真楽寺



高野山真言宗の末寺で、播州夢前七福神霊場の第三番の札所。大永元年に覚尊上人が創建。入口には馬頭観音を祀る若宮社があり、護摩堂に雪彦山護国寺筆頭鎮護寺本尊大日如来を祀っている。



山之内小学校(閉校)



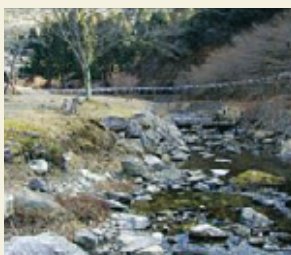
学制が公布された翌年の明治6年に学塾が創設され、明治15年に夢前小学校山之内分校に改称。その後、何度かの改称を経て、昭和22年に山之内小学校となったが、平成22年3月に134年の歴史に幕を下ろし、閉校した。



菅生川



全長22.9km、山之内小畑より流れ出て、菅生ダム(明神湖)を経て青山で本流夢前川に合流。菅生川上流では、夏には鮎狩りを楽しむ人たちが賑わい、秋は菅生ダム(明神湖)周辺で、色とりどりのもみじが紅葉する。



夢前川



鹿谷中学校区北端の雪彦山にその源を発し全長39.8km。紀貫之が「現(うつつ)にはさらにもいはず播磨がた夢前川に流れてもあはん」と詠んだ。上流では、春は清流での川遊びや鮎狩りを楽しむ人で賑わう。



1 地域夢プランの歩み
～はじまりからこれまで～

2 地域夢プランのかたち
～検証と未来へのアプローチ～
「取組の類型化」

3 地域夢プランのとらえ方
～検証と未来へのアプローチ～
(1) 「姫路市地域夢プラン」の概要

3 地域夢プランのとらえ方
～検証と未来へのアプローチ～
(2) 地域資源を活用したまちづくりと展望

4 地域資源の全リスト
～地区からの情報発信～
(1) 地区ごとの主な地域資源

4 地域資源の全リスト
～地区からの情報発信～
(2) 地域資源一覧